



その人！「失語症」かもしれません！！

「失語症」は、脳卒中や事故で脳が傷ついたことで起こる後遺症です。

話すこと	聞いて理解すること
書くこと	読んで理解すること

が、難しくなります。

☆短い言葉で、少しゆっくり話しかけて下さい。

☆要点を漢字単語中心で書いて見せて下さい。

☆返事はゆっくり待ってみて下さい。



ご配慮お願いします

失語症の具体的な症状

【話すこと】

- ・ 言いたい言葉が出てこない。
- ・ わかっているのに、うまく言葉にならない。
- ・ 思っていることと違う言葉や音になってしまう。

例：（「大阪」と言いたいのに）「岡山」「おおかさ」と言ってしまうなど

【書くこと】

- ・ 文字を思い出せない。
- ・ 思っていることと違う字になってしまう。
- ・ 一般には「かな」の方が「漢字」より難しい。

【聞いて理解すること】

- ・ 聞こえているけど、意味がわからない。
- ・ 複雑な内容や長文、早口、複数の人の会話は特に難しい。
- ・ 復唱は出来ても、意味を理解していない場合がある。

【読んで理解すること】

- ・ 文字は見えているけれど、意味がわからない。
- ・ 一般には「かな」が「漢字」より難しい。
（50音表を1文字ずつ指さして意思を伝達することは、難しい人が多い）
- ・ 音読が出来ても、意味は理解出来ていない場合がある。

【数字や計算】

- ・ 数字を聞き取ることが難しい。（耳で聞くより目でみた方がわかりやすい）
- ・ 以前は出来ていた計算が難しくなることが多い。

失語症のある人の特徴

- ・ 運動マヒ（主に右マヒ）を伴うことも多いが、マヒのない人もいる。
- ・ 一人一人、症状や重症度に違いがある。
- ・ 基本的には、知的機能・状況判断・礼節などは保たれている事が多い。

コミュニケーションの工夫

「言葉」での理解や表現が難しくても、絵や写真・図などは理解しやすいのです。聞き手が、選択肢を書くなどして提示し、そこから選んで貰ったり、話を整理しながら会話を進めるといった方法が効果的です。

